

NOOS LECTURE 2019 IN 東京

福岡、東京で開催したヌースレクチャー 2019 シリーズの第 1 回目は大いに盛り上がり、おかげさまで好スタートを切ることができました。続いて第 2 回目のプログラムの案内です。今回は『奥行きの子供たち』第 2 章の「エヴァンゲリオン——二つのタナトスの間で」の内容を絡ませながら、ヌースロジーの解説を進めて行こうと思います。この章は主に精神分析とカバラ神学の話が中心になっていますが、ヌースロジーから見るとこの両者はとても親密な関係を持っています。それは本にも書いていたように、精神分析の創始者であるフロイト自身がカバラに多大な影響を受けて、自らの理論を構築したふしがあるからです。今回は難解に思われがちなカバラ思想と精神分析の関係を、第 1 回目に紹介したブーバー思想やハイデガーの哲学も交えながらいろいろと語ってみようと思います。ヌースロジーの思考がこれらの思想群をどのように横断し、かつ統合していくか、その思考線をご紹介します。前回、参加できなかった方でもまったく問題はありませぬ。皆様のご参加をお待ちしています。



■第 2 回 二つのタナトスの狭間で

人は誰もが社会的個と精神的個の間で葛藤しながら生きている。フロイトの言葉に訳すなら、〈超自我〉と〈エス = 無意識〉の間で、と言い換えてもいいかもしれない。そもそも、人間の意識の働きの中に、なぜ、このような二つの力の拮抗関係があるのだろうか。こちらを立てればあちらが立たず。あちらを立てれば、今度はこちらが立ちゆかない。その反復の中で苦しみ抜いて生きることが人の一生と言い換えても過言じゃないだろう。人間の無意識の中に潜むこのようなシーソーゲームに何らかの意味はあるのか。今回はそれをヌース的に解いてみようと思う。

■日時：2019年 8月 25日（日曜日）

開場・受付 12:30～
レクチャー 13:00～17:30

1. 『エヴァンゲリオン』と精神分析
2. 『生命の樹』とは「ヒト」の精神構造
3. カシウスの槍とロンギヌスの槍
4. 『奥行きの子供たち』をめぐる参加者とのフリーディスカッション

■場所：JAM 金属労働会館 3F

■料金・お支払い方法：

- レクチャー 6,000 円（学割 3,000 円）
- 懇親会 4,000 円（自由参加、18:00～）
- 当日払い（会場受付にて現金支払い）
- 事前支払い（ショップサイトにてカード支払い）

■問い合わせ先：ヌースアカデメイア

TEL. 092-402-6999（平日 9:30～18:00）
レクチャー前日・当日 TEL. 070-2319-6287
mail: info@noos-academeia.com

■参加申し込み方法

ウェブ (<https://noos-academeia.shop/>)、お電話、メールにて受付中です。定員に達し次第、締め切らせていただきます。

■交通アクセス

東京都渋谷区桜丘町6-2 JAM 金属労働会館（JR 渋谷駅より徒歩 7 分）

